

教育研究所だより



宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

令和3年度（5月現在）本研究所は所長、専任指導主事、事務員と長期研究員2名を含む主に5名体制で研究所（総合庁舎3F）に常駐し、各事業に取り組んでいます。また、研究所の組織としては、教育相談室（総合庁舎3F：教育相談員2名）、適応指導教室「まていだ教室」（旧宮原小学校内：指導教員1名、指導員2名）がそれぞれの場所で業務を行っています。

所長 平良 善信

本年度、教育研究所の所長として務める事になりました平良です。本市の学校教育にかかる現状を把握し、関係機関・関係大学と連携を図りながら、教育現場・保護者・地域社会のニーズにあった支援ができるよう尽力して参ります。

指導主事 砂川 睦紀（専任）

研究所では生徒の声が聞こえず…ちょっぴりさみしいですが、主事としての業務をはやく覚えて宮古島の子供たちの健やかな成長を育む現場の先生方の下支えや研究員の先生方へのサポートがしっかりとできるよう頑張ります。

事務員 羽地 留美

研究所として初めての事務で分からない事ばかりですが、学校や宮古島の子供たちの教育のために尽力する所長や先生方の裏方として、日々の業務がスムーズにいくようサポートしていけたらいいなと思います。



一心不乱！研究に取り組む第2期研究員
 （左：上村教諭 右：與那嶺教諭）

研究員 上村 俊介（平良第一小学校教諭）

授業における児童の協働的な学びを、ICTを効果的に活用して実現するための研究を行います。半年間の研究に専念できる機会に感謝して、教師としての資質・能力を高めていきたいと思ひます。

研究員 與那嶺 誉代（久松中学校教諭）

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、ICTを活用した授業改善に取り組んでいきます。これから半年間、このような研究ができることに感謝し、努力していきたいと思ひます。

第2期研究員は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた効果的なICTの活用を大きなテーマとして、研究に取り組んでいます。5月14日（金）には、琉球大学教育学部 蔵満准教授と Zoom による会議を行い、研究計画や授業づくりの実践的な内容（ICTの活用）について指導助言を頂きました。今後も研究の様子や進捗状況なども本紙を通してお知らせしていきたいと思ひます。2人の研究成果が市内各学校の先生方の授業実践の手がかりとなるよう所員一丸となって取り組んで参ります。

○平良第一小学校 上村俊介 教諭
 「自ら問いを持ち主体的に学ぶことができる児童の育成」
 ～授業におけるICTの効果的な活用を通して～

○久松中学校 與那嶺誉代 教諭
 「対話的な学びにより課題解決をする生徒の育成を目指す授業の工夫」
 ～ICTの活用を通して～